

日本共産党

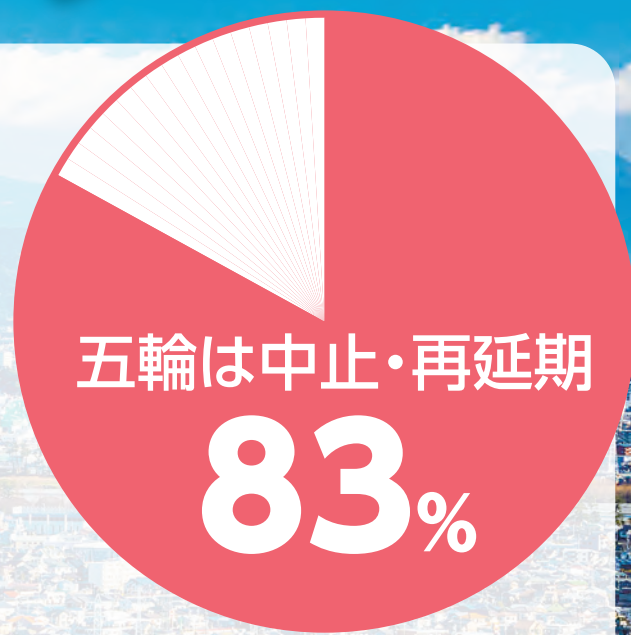
国民の声をきかない政治を #東京五輪は中止! チェンジ

オリンピック・パラリンピックの開催とコロナ対策が両立できないことは、もう誰が見てもハッキリ。ところが菅政権は、いまだに開催に固執しています。“五輪ファースト”の態度をあらため、きっぱり中止を決断し、あらゆる力をコロナ対策に注ぎ込むべきです。

〘感染には波がある、と無責任な菅政権

「3本柱」でコロナ対策の強化を

〘感染の波はやむをえない、と言い訳する菅政権。失われる命への痛みはないのでしょうか。世界128位と立ち遅れたワクチン接種を急ぐことは当然ですが、それだけで感染封じ込めはできません。日本共産党は、3つの柱で総合的な対策が必要だと提起しています。



1 ワクチン接種

いま政府がやるべきは「高齢者は7月未完了」など裏づけのない「期日」を現場に押しつけることではありません。実態に即した工程をしめし、安定したワクチンの供給、医師・看護師の確保など、接種体制への支援に責任をもつことです。

2 PCR検査

高齢者施設、医療機関、保育園、学校などに頻回・定期的なPCR検査が必要です。無症状や初期症状の感染者を探し出して保護する大規模検査もいよいよ重要に。インドで猛威をふるう変異株を迅速につかむ検査・ゲノム解析を拡充します。

3 十分な補償

コロナ禍はすべての中小企業、個人事業主を直撃しています。十分な補償は、経済対策であるとともに感染防止にも必要不可欠です。持続化給付金・家賃支援給付金の2回目の支給、雇用調整助成金、休業支援金のコロナ特例維持など支援を強化すべきです。

コロナ禍のなか 命まもる政治を

コロナ対応で“迷走”
高齢者医療費2倍化強行

静岡県から

北海道・長野 衆・参補選 広島 参院再選挙 につづき 自民に審判を

国民に冷たい
自民党政治NO!!

まともな政治を!

みんなで変える

市民と野党の共闘へ全力

政治を変える近道は政権交代。そのために共闘前進へがんばります。「政権公約」のたたき台を日本共産党は野党に呼びかけています。(右参照)

新しい日本をつくる5つの提案

- 1 格差をただし、家計第一の政治に。
- 2 憲法を守り、立憲主義をとりもどす。
- 3 いいなり外交やめ、自主・自立の平和外交へ。
- 4 「グリーン・リカバリー」—自然と共生を。
- 5 ジェンダー平等を実現、個人尊重の政治に。

「グリーン・リカバリー」=コロナ危機で打撃を受けた経済・社会の回復において、気候変動の抑制や環境・生態系の保護の観点を重視する。